

自分で考え 行動できる人を 育て残したい

立命館大学アメリカンフットボール部監督
米倉 輝さん (南高田町)

撮影場所：長浜バイオ大学ドーム

ひょうたんボウルのベンチで、鋭い眼光で戦況を見守る米倉さん。「学生たちが自分で考えてプレーすることが、最も大事」と話します。

自身も、大学時代はアメリカンフットボールの選手。身体の大きさを見込まれて勧誘されたことがきっかけで入部しましたが、練習が厳しく、幾度となくやめようと思ったそうです。しかし、持ち前の粘り強さで努力を積み重ね、試合に出場するうちにその面白さにのめり込むようになりました。

「学生たちには、アメフトだけを学ぶのではなく、競技から離れても、社会人として活躍できる人材になってほしい」と話しますが、勝負を二の次とは決して考えていないそうです。「勝利と

いう目標を成し遂げた学生の顔はやはり素晴らしい。みんなにその成功体験をしてほしい」と力強く語ります。

指導方法はシンプルで、あまり口出しをせず、選手自身が考えることの大切さを教えるよう、普段から心がけているそう。「アメフトは、刻々と変わる状況の中、選手がどうすればよいかを自分で考えてプレーし、その戦略が上回った方が勝つスポーツ。試行錯誤の上、たどり着いたスタイル」と語る独自の指導法で、2015年には大学日本一を勝ち取りました。

自分自身を育ててくれたアメフトに対する思いは強く、競技人口を増やし発展させたいと考える米倉さん。次代のアメフトを担う“人”が育ってくれる

ことが何よりの喜びだと語ります。「今までやってきてよかったと一番感じたのは、指導してきた選手が、中学校や高校の顧問として指導者になってくれたこと」。

三重県出身の米倉さんにとって長浜市は、「琵琶湖畔の自然が豊かで町並みも美しいまち」と好印象。そして何より、全国でも珍しいアメフト熱のある地域に自分が住んでいることに、ただならぬ縁を感じるそうです。小さいころからアメフトに触れることは、基本的な技術が身に付くだけでなく、勝負勘が重要なこのスポーツにとってすごく大切なこと。ここに移住してきた縁として、選手や指導者の養成などできることで協力したいと意欲満々です。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。
笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。
掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



優しいにいといつも元気なふたご姉妹。
パパとママの宝物です♡
これからも仲良く元気に大きくなってね！

(西浅井町横波)

森川

はな
おと
花ちゃん (平成22年7月生まれ) (右)
おと
音ちゃん (平成22年7月生まれ) (中央)
はな
晴汰くん (平成19年6月生まれ) (左)

廣部

たくむ
匠夢ちゃん (平成27年5月生まれ)
(神照町)



たくちゃん1才のお誕生日おめでとう♡
これから元気いっぱい育てね♡
2人のお兄ちゃんに負けるな!!!

まちの
人口

平成28年5月1日現在	人口 120,497人	男 58,907人	女 61,590人	世帯数 44,816世帯
平成28年4月中の異動	転入 305人	転出 346人	出生 58人	死亡 115人 婚姻 36件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としています。市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報をご希望の人は市民広報課まで。